

弥生時代のむら - タ千十カむらの想像図



脱穀：

木の臼、杵を使ってモミからコメを取ります

服装

「貫頭衣」と呼ばれる木綿製の服を着ていたと考えられます。

たてもの① 竪穴建物
普通の住まいです



たてもの② 掘立柱建物
倉庫として使用されます

このイラストは、館野小学校の南東で
みつかった、押野タ千十カ遺跡の様子
からイメージを膨らませて
描かれたものです。

紐を通して手に固定するため
石包丁には穴が開いています

イネの収穫

石包丁を使い、稲の穂を刈り取ります

